

京都府立医科大学附属病院 認知症疾患医療センター主催
行動アセスメント研修セミナー

テーマ

認知症をもつ方の生活機能のアセスメント

—プール活動レベルを用いた在宅生活支援と多職種連携—

講師

小川 真寛 先生

(京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻 作業療法学講座 助教)

プログラム

13:30～13:40 挨拶

13:40～15:40 基調講演および事例に基づいた演習
「認知症をもつ方の生活機能のアセスメント
—プール活動レベルを用いた在宅生活支援と多職種連携—
講師：小川 真寛 先生
(京都大学大学院医学研究科 助教、作業療法士)

15:40～16:00 質疑応答

日時 2016年7月2日(土) 13:30～16:00 (受付開始 13:00)

会場 京都府立医科大学 北臨床講義室

参加資格：医師、心理士、看護師、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー、ケアマネージャーなどの医療福祉関係者、大学院生、そのほか、認知症ケアに携わっておられる方

定員 100名(先着順) / 参加費 無料

<研修内容>

日々、認知症の方に携わっておられる中で、いかにアセスメントするかということに困った経験のある専門職の方は多いのではないのでしょうか。今回は、介護老人保健施設やリハビリテーション病院で作業療法士として、認知症の方に携わってこられた小川真寛先生から、生活機能に着目したアセスメントについてご講演いただきます。

認知症ケアにおける作業療法士の役割、プール活動レベルを用いた支援をご紹介します。また、モデル事例を元に実際にチェックリストを作成してみるといった演習もご用意いただきました。認知症の方への在宅支援と多職種連携を実践的に学べる内容となっております。

<講師紹介>

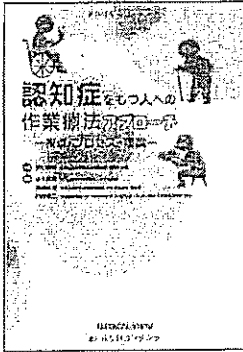
小川 真寛 先生(講師)

認定作業療法士、認知症ケア専門士、認知症ケアマッピング上級ユーザー、回復期セラピストマネージャーの資格を有する。

2001年、広島大学医学部保健学科作業療法学専攻卒業。2011年、保健学博士(広島大学)。

介護老人保健施設ベルローゼ、イムス板橋リハビリテーション病院他、通所リハ・通所介護等で作業療法士として勤務し、2014年より京都大学大学院医学研究科に勤務、現在に至る。

<講師著書紹介>



「認知症をもつ人への作業療法アプローチ-視点・プロセス・理論」

認知症をもつ人に対する作業療法はさまざまな面で困難なことが多く、臨床現場で働く作業療法士のなかには、どのようにアプローチしたらよいか困惑している人も多いと思われる。また、高齢化やリハビリテーションの個別化が進む昨今では、単純に作業を行うだけのアプローチではうまく対応できないことが多いため、臨床現場で困っている作業療法士を対象に、認知症の人への作業療法を具体的にどのように進めればよいかを解説した実践書である。対象者の評価から実際の介入、その効果の検討まで、作業療法理論に基づいた一貫性のある流れをわかりやすく紹介してある。

実践方法だけでなく、それを裏付ける作業療法理論についても解説し、最後にそれらを包括した形で事例を紹介している。認知症の人への作業療法の実践方法を身につけてほしいという願いの込められた一冊である。

メジカルビュー社 2014年刊行

<申込み方法>

申込書に必要事項をご記入の上、FAX、郵送のいずれかでお申込み下さい。

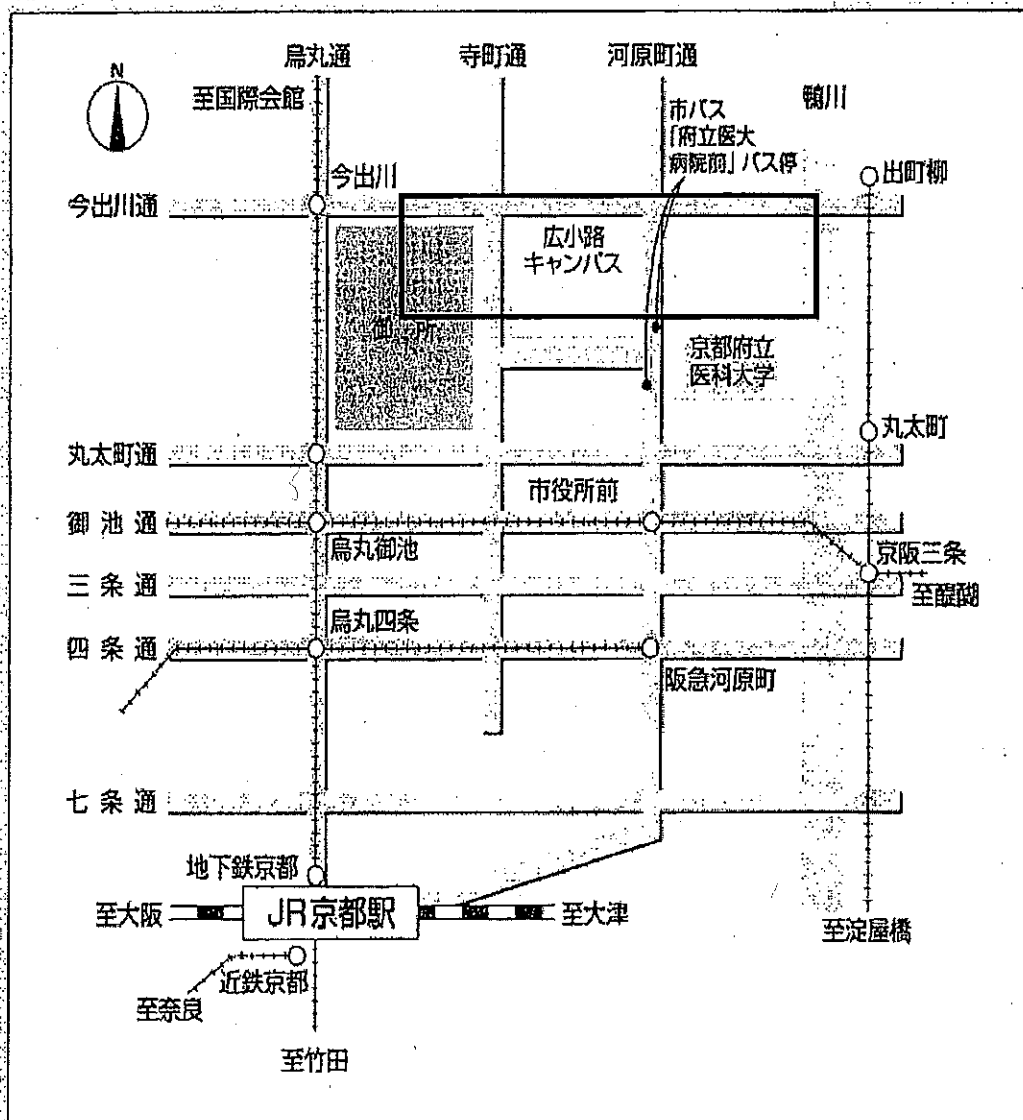
<確認事項>

先着順に受け付けます。申込み多数の場合は、お断りすることがあります。

<申し込み期日> 2016年6月24日(金) 必着

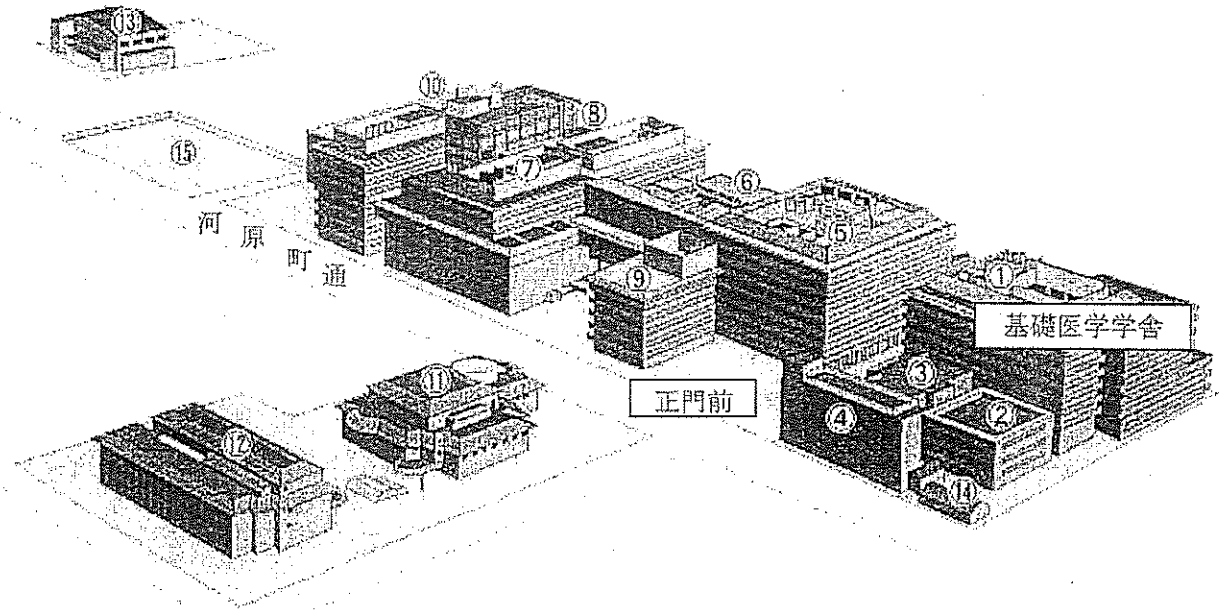
申込み先 京都府立医科大学附属病院認知症疾患医療センター
〒602-8566 京都府京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 465
TEL 075-251-5566 (直通) FAX 075-251-5839

～交通のご案内～



- ◆JR「京都駅」から市バス 4、17、205 系統→「府立医大病院前」下車
 - ◆阪急電鉄「河原町駅」から市バス 3、4、17、205 系統→「府立医大病院前」下車
 - ◆京阪電鉄「三条駅」から市バス 37、59 系統→「府立医大病院前」下車
 - ◆京阪電鉄「神宮丸太町駅」下車 徒歩 10 分
 - ◆京阪電鉄「出町柳駅」下車 徒歩 15 分
- ※自家用車でお越しの方は、有料駐車場のご利用となります。駐車台数に限りがございますので、お越しの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

～会場のご案内～



③ 北臨床講義室

